



(有) 湯地の丘自然農園

主
な
内
容

- TPP 反対運動
- 営農指導課のページ
- 地区別懇談会開催
- 小農機具展示会
- 施肥・土壌改善個別相談会
- 各組織栽培講習会
- 各種のお知らせ
- 各地区の作業風景...etc

～ 融雪剤散布始まる ～

春作業に向け、各地区で融雪剤の散布作業が始まりました。

3月まで続いた断続的な降雪により雪解けが心配されましたが、その後は降雪が少なく比較的穏やかな日が続いたことから、風の少ない日には早朝から散布する光景が見られました。

『TPP参加交渉断固阻止を訴え』

空知管内TPPチラシ斉配布

3月2日(金)、空知管内の各ブロックで、TPPに関するチラシの一斉配布が行われました。(次ページ参照)

これは、空知農民連合並びに管内JA組合長会により、TPP正式参加阻止に向け、TPPの課題を広く訴えるため行われたもので、各ブロックの駅前や商店街等で地域住民に対して配布されました。

当地区では、ラッキーさん前(栗山町)で、栗山町農民協議会藤本委員長と当JA中島専務・佐々木常務により、TPP問題を一緒に考え、改めて危険性を理解していただこうと、買い物客らに1枚1枚手渡されました。

当JAでは、配布チラシを拡大したポスターを本所入り口に掲げ、来所される皆さんに理解を促しております。



チラシ配布の様子



JAグループ北海道は、兼ねてよりTPPに対する様々な運動を展開してありましたが、3月は特に新聞への意見広告やテレビCMを通じて、TPP交渉参加阻止に向けた一層の反対運動が行われております。JAそらち南においても、TPP問題を地域住民と一緒に考えて頂こうと、昨年の4月には、栗山町・由仁町の地域住民を対象にTPP特集号(コミュニティ誌)を発刊し、身近な生活等、農業以外の分野についても大きく影響することを訴えて参りました。

TPP問題については、各メディアにより報道が行われておりますが、既に関係各国と事前協議に入っている中、国民との議論や説明が十分に行われているとは言えない状況であります。

JAそらち南は、今後も関係機関と協力し、食と地域社会・地域住民の生活を守るため、TPP交渉参加の断固阻止を訴えて参ります。

(左下 昨年発刊したTPP特集号)



TPPって何?

TPPの本当のこと皆さんは知っていますか?

TPPってそもそも何?

私たちの生活に
どんな影響あるの?

TPPに入らないと
世界の中で孤立する
って本当?

TPPで暮らしが
どう変わるの?

一緒に考えてみませんか?

この国のかたち、子ども達の将来のこと。

いま、日本政府はTPPという太平洋を取り巻く国々で原則、関税を無くし「完全に自由な貿易をしよう!」という国々のグループに入ろうとしています。しかし、皆さん一見、良い事のように聞こえる、このTPPについて「本当のこと」どれだけ知っていますか?
未来に生きる子ども達のために、今、責任ある立場にいる私たち大人の一人一人がしっかりと向き合い「考える」ことが大切です。

子ども達にそんな物を食べさせられますか?

日本の食が危ない!

- 遺伝子組み換え作物の輸入拡大!?
- ポストハーベスト農業規制の緩和!?
- 米国産牛肉の輸入規制を撤廃!?

TPPは食料安全保障を失わせる亡国の道です。食料自給率が39%から13%に低下し、主食のコメの9割が輸入品に。農林水産業の生産拠点である地方は壊滅。米国は日本とのTPPの参加協議にあたり、牛肉へのBSE規制を見直し、添加物、ポストハーベスト農業等の緩和、遺伝子組み換え食品の認可促進などを要求。

仕事が無くなって生活ができますか?

みんなの雇用が危ない!

- 価格競争による値下げ競争!?
- 国内産業の淘汰による失業者の増加!?
- 給料は下がり、底なしの不景気へ!?

関税の撤廃は、国内の農業や食品産業、製品工業で熾烈な価格競争を招き、国内産業は淘汰されます。結果として雇用は確実に失われ、失業者が増加し、実質賃金は下がり、さらにデフレが悪化。底なしの不景気を招きます。安価な輸入商品は一見いいように見えますが、「消費者=雇用者」であり、結果的に被害を受けるのは国民です。

あなたはこんな高額な医療費を払えますか?

医療・保険が危ない!

- 混合診療で国民皆保険が崩壊!?
- 外資が営利目的の病院経営や保険に参入!?
- 虫歯一本に治療費10万円!?

政府はTPPで「公的医療保険制度は議論の対象になっていない」と説明していたが、後に「議論される可能性は排除されない」と修正しました。アメリカのように医療格差が拡大し、お金が無ければ医療が受けられなくなります。虫歯一本に治療費10万円、盲腸の手術費用に200万円!?

外国企業に公共事業をまかせられますか?

地方の経済が危ない!

- 自治体発注の公共事業に外資も!?
- 地元業者の受注事業が縮小!?
- 英語での入札公告の義務付け!?

地方自治体が発注する公共事業の4割が外国企業に公開される可能性があるとして政府が試算を公表。
地元の中小の建設業などが苦況に追い込まれ、社会インフラや生活基盤が崩壊する可能性。



空知管内農業協同組合長会
岩見沢市5条西5丁目2-1 空知農業会館
JA北海道中央会 岩見沢支所内 ☎0126-22-8213
空知農民連合
岩見沢市5条西5丁目2-1 空知農業会館3F
☎0126-22-8217

考えてみよう!
TPPのこと



検索

「秋まき小麦は元気ですか」

昨年の4月号にも同じタイトルで記事を書きましたが、今年は昨秋の播種時期が例年になく遅かったため、雪の下から元気な顔を出してくれるか気になります。

間もなく雪が解け、秋まき小麦が見られるようになりますが、根雪前に十分な越冬体勢が出来ないまま、積雪下になった場合がかなり多くなっています。そのため、例年以上に融雪後の管理が重要な年になります。

融雪水の排出に手間をかける

畑の停滞水は、越冬後の秋まき小麦の生育にとって良くありません。特に、草勢が悪いと思われる株が水没するような状態は、何とかして避ける必要があります。

畑の周囲や内部に、可能な限り明渠を掘る等の対応が必要です。

起生期の追肥

起生期以降の窒素追肥がとても重要です。起生期の追肥は6kgが基準です。その後は生育経過を見極めながら、施肥のガイドブックに示した(16ページ)生育期毎の基準を目途に、倒伏させないようにこまめな追肥を行う必要があります。

ます。

「病害虫図鑑に

載っていない病害虫」

平成22年の春に組合員の皆さんに配布しました、「農作物病害虫図鑑」に載っていない病害虫の第3弾です。

③てん菜のシロオビノメイガ

シロオビノメイガは飛来性害虫で、平成22年に全道でてん菜に無視できない被害を及ぼしました。昨年も広範囲での発生がありましたので、この地域でも要注意です。防除対策としては、ヨトウガ防除に昆虫成長抑制剤(IGR)を、早期に散布した畑で発生が少ない事例があるので、参考にして下さい。



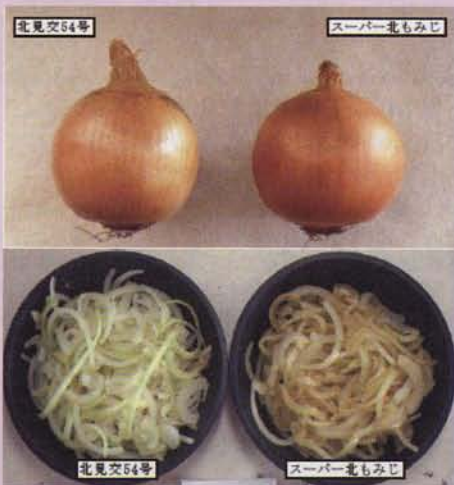
上の写真は幼虫で、下の写真は被害畑の様子です。

「注目したい新品種」

今回は、北見農業試験場が育成した、たまねぎの新品種候補「北見54号」を紹介します。

この品種候補の特徴は、加工適性が高いことです。一般的に加工向けのたまねぎ栽培は敬遠される傾向にありますが、実需者の評価が高いことから、加工用としての新たな展開の可能性が考えられます。

特記すべき特徴として、乾物率とBrixが高く、加熱時間の短縮、製品完成時の歩留まり率並びにBrixの向上など、加熱加工適性に優れることが強調されています。



右の写真はいずれも、北見農業試験場の了解を得て掲載しました。

下の写真は、5分間の加熱処理後の色を比較した写真で、北見54号の仕上がりの良さが明瞭です。

「飼料用トウモロコシの

実穫り栽培のお勧め」

飼料用トウモロコシの実穫り栽培で、「土づくり」と輪作体系を確立する取り組みが5年目を迎えます。今年は、過去に実穫り栽培を行った畑で「土づくり」の成果が見えてくる年次になります。

また、昨秋の収穫後に「カッティングソイラー」を施工した畑では、春先の土壌水分の低下に大きな期待を持って見守りたいと思います。更に、栗山地区では転換畑以外の畑で実穫り栽培を行う際の補助を、今年から3年間継続することが決まりました(反当2万5千円)。実穫り栽培の実施を検討されている方は、営農指導課まで。



(文責・技術アドバイザー尾崎政春)

新たな農業振興計画・経営計画を説明

農協地区別懇談会

3月26日(月)から29日(木)に亘り平成24年度農協地区別懇談会が開催されました。今回行われた懇談会では、主に4月5日に開催される第3回通常総代会の提出議案や第2期となる農業振興計画並びに中期の経営計画について、説明が行われました。

春耕期に向け忙しい中出席いただいた皆さんからは、設備投資計画について「新築予定の倉庫はどこに建設するのか?」「新設サイロの利用料はどうなるのか?」等の質問が出されました。



3月26日 南学田自治区



3月26日 下古山自治区



3月27日 鳩山自治区



3月27日 古山・伏見自治区



3月28日 緑丘自治区



3月28日 本三川自治区

また、「早取奨励の方法や奨励額を増やせるよう検討して欲しい」、「振興計画達成の為に農産物の集荷率向上を図って欲しい」等貴重な意見を頂戴しました。

今回の懇談会で頂いたご意見・ご質問については、内容をとりまとめ、後日、ご回答させていただきます。

貴重なご意見等を賜りましたことを改めてお礼申し上げます。

〜市場担当者と意見交流〜

花き消流懇談会

3月8日(木)、由仁支所において、南空知花き生産組合の栽培講習会と道内地方市場との消費・流通懇談会が開催され、会員40名が出席しました。

当日は懇談会の前段で、普及センター空知南西部支所佐々木普及指導員講師による講習が行われた他、「りんどう」の作付けを増やそうという組合の意向から、長沼地区の生産者による事例発表が行われ、作付を検討されている6名の生産者が参加しました。その後、道内4市場(旭川丸果・帯広市場・丸中釧路市場・苫小牧中央花卉)の担当者を招いた懇談会が開催され、生産者と市場担当者との意見交換が行われ、各々の立場から貴重な意見が出され、それぞれ有意義な時間を過ごした様子でした。



挨拶する田中組合長



活発な意見交換が行われた懇談会の様子

〜生産者から消費者へ〜

くるるの杜直売PRイベント



販売準備する水上さんと高橋職員



賑わうイベント会場の様子

3月10日(土)と11日(日)、ホクレンくるるの杜にて直売イベントが行われました。

くるるの杜は、消費者と生産者を結ぶ「食と農のふれあい広場」として2010年の夏にオープンした都市・農村交流施設で、ここでは、体験型農場をはじめ、調理加工体験施設や農村レストラン、農畜産物の直売施設などがあります。直売施設の野菜売り場の商品は出荷者名が記されており、JAそらち南もしいだけ、道産原料クッキー等を販売しています。

今回は、水上さん(富士)が店頭にて対面販売を行い、開催日がホワイトデー前ということもあり、特にご家族に好調な売れ行きで、PR目的のイベントでありましたが、終了時間を待たず売り切れとなる商品もあり、搬入品のほとんどは完売となりました。

それぞれの「ゆめ」安定収量と品質確保へ

ゆめぴりか栽培講習会・通常総会

3月1日(木)、JA本所大会議室でゆめぴりか栽培講習会とJAそらち南ゆめぴりか生産組合の通常総会が開催されました。24年度のゆめぴりか作付予定者は293名となっており、当日は85名の生産者が出席されました。

先に行われた講習会では、ホクレンからうるち米を巡る情勢として、現在の全国及び北海道米の情勢について説明がありました。また、ゆめぴりかの今後の販売について、「高価格帯の需要を獲得するため、安定供給と品質向上が重要である」と説明がありました。その後の営農部による栽培講習では、栽培実態調査の結果から、稲わらの秋収集やケイ酸施肥、側条比率の向上が高品質米生産に重要であると説明がありました。



栽培講習会の様子



講習会に参加した生産者の皆さん



通常総会の様子

講習会終了後には、通常総会が開催され、南坂組合長より「基準内品の出荷量が全道でも上位となったのは、組合員の皆様の努力のおかげである」と挨拶がありました。議長には、元木齊さん(南学田)が選出され、平成23年度の事業報告・24年度の収支予算案がそれぞれ審議・承認されました。

ゆめちから栽培講習会

2月29日(水)、古山集落センターにて、作付生産者を対象とした秋播き小麦ゆめちから栽培講習会が開催されました。

普及センター国枝係長と営農指導課尾崎技術アドバイザーから、ゆめちからの特徴や栽培要点、町内展示圃での生育経過など説明がありました。

ゆめちからは、春小麦のように、穂の先端にのげ(芒)があり、秋播き小麦でありながら超強力粉のため、パン用や中華めん用への適性が高く、縞萎縮病抵抗性があるため、今後期待される品種の一つです。収量の安定と品種

特性を持つた高品質なゆめちからを生産するためには、特性を十分把握し土壌環境改善や肥培管理が重要となります。



適切な圃場環境に向け

施肥・土壌環境改善相談会

3月13日（火）、施肥対応・土壌環境改善相談会が、午前は栗山地区を対象に継立出張所にて、午後からは由仁地区を対象に古山集落センターでそれぞれ開催されました。

相談会に訪れた組合員の方々は、土壌分析結果を基に必要な成分の過不足から適切な肥料体系の検討、また、排水不良圃場の改善策などについて、J A技術員と普及センターのアドバイザーとで真剣に検討しておりました。



栗山地区



由仁地区

分析データを活用

麦・豆類生産技術講習会



説明に耳を傾ける組合員の皆さん

3月6日（火）、J A本所大会議室にて麦・豆類生産技術講習会が開催され、約30名が出席されました。

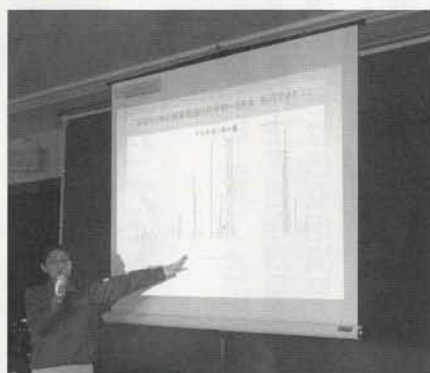
豆類の講習として、普及センター南東部支所の阿部係長よりダイズシストセンチュウや落葉病・茎疫病を主とした病害虫対策、除草技術や汚粒防止などの栽培要点などについて説明がありました。

小麦の講習では、J Aそらち南の尾崎技術アドバイザーより生産履歴集計結果に基づき、分析データを活用した秋まき小麦の現状・課題、改善方法について詳細な説明が行われ、参加された組合員の方々は真剣に耳を傾けておりました。

今年の病害対策は

栗マロン栽培技術講習会

3月16日（金）、J A本所大会議室にて、栗マロンの栽培技術講習会が開催されました。この講習会は栗山町栗マロン研究会によるもので、参加者は会員38名が出席し行われました。講師には、普及センターの八重樫専門普及指導員が招かれ、「平成24年の注意すべき病害」として、主に褐斑細菌病や斑点細菌病、黒斑病があげられ、過去の発生状況や発病条件と有効な予防策として、推奨される農薬の散布方法等について説明がありました。参加した皆さんも改めて防除の重要性を感じている様子でした。



講師を務める八重樫普及指導員

3月7日（水）農機具研修センター、9日（金）由仁営農センターでそれぞれ小農機具展示会が開催され、本年も大勢の組合員の皆様にご来場頂きました。

会場にはトラクターや農作業機をはじめ、さまざまな小農機具が陳列され、繁忙期前に必要なものを取り揃えようとする組合員の皆様が多く、職員や農機具メーカーの担当者にも色々質問し、仕様や価格などを確認していました。また、新しいトラクターや作業機の性能、価格等を熱心に商談する光景も見られました。

本年も何かと多忙な時期での開催にも関わらず、大勢の組合員の皆様にお越し頂き、厚くお礼申し上げます。



栗山地区会場の様子



由仁地区会場の様子



ガーデンハウスにて



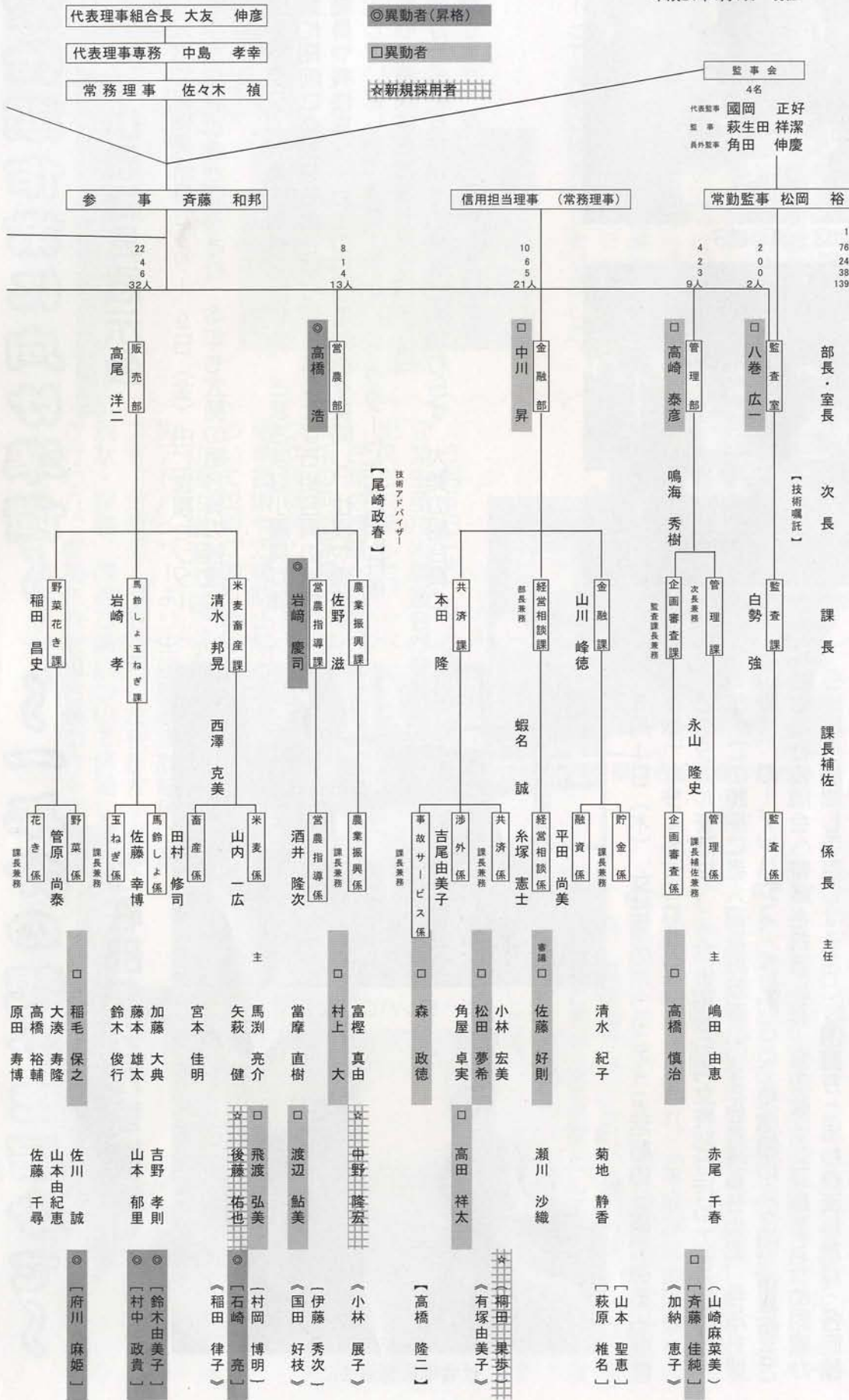
社会福祉協議会にて

3月1日（木）、女性部のボランティア活動の一環である「タオル寄贈」が今年も行われました。

このタオル寄贈は、JA合併前から両女性部が行ってきた事業で、毎年、この時期に老人福祉施設等にタオルを贈るもので、今年も栗山町は、ガーデンハウス、くりのさと、泉徳園の3ヶ所、由仁町は、社会福祉協議会へ寄贈されました。今年はインフルエンザの影響から施設へ訪問し手渡しすることが困難かと思われましたが、各施設とも快く迎えていただき、施設での様子などを伺って帰って来るものが出来ました。一年間かかって集めてきたタオルは、お年寄りが喜んで使っているとお礼の言葉もいただいております、女性部ではこの活動を今後も続けていく予定です。

そらち南 機構図

平成24年4月1日 現在



平成24年度 JA

本体業務	男	女	計	子会社業務	男	女	計
正職員	77	24	101	本体職員出向	2	3	5
(準職員)	6	6	12	[MW正職員]	9	2	11
[MW正職員]	5	8	13				
[MW臨時職]	2	9	11	[MW臨時職]	4	15	19
<MWパート>	2	2	4	<MWパート>	12	12	24
[MW嘱託]	2	2	4	[MW嘱託]	1	1	2
[本体嘱託]	4	4	8				
計	90	49	139	計	16	32	48

187名

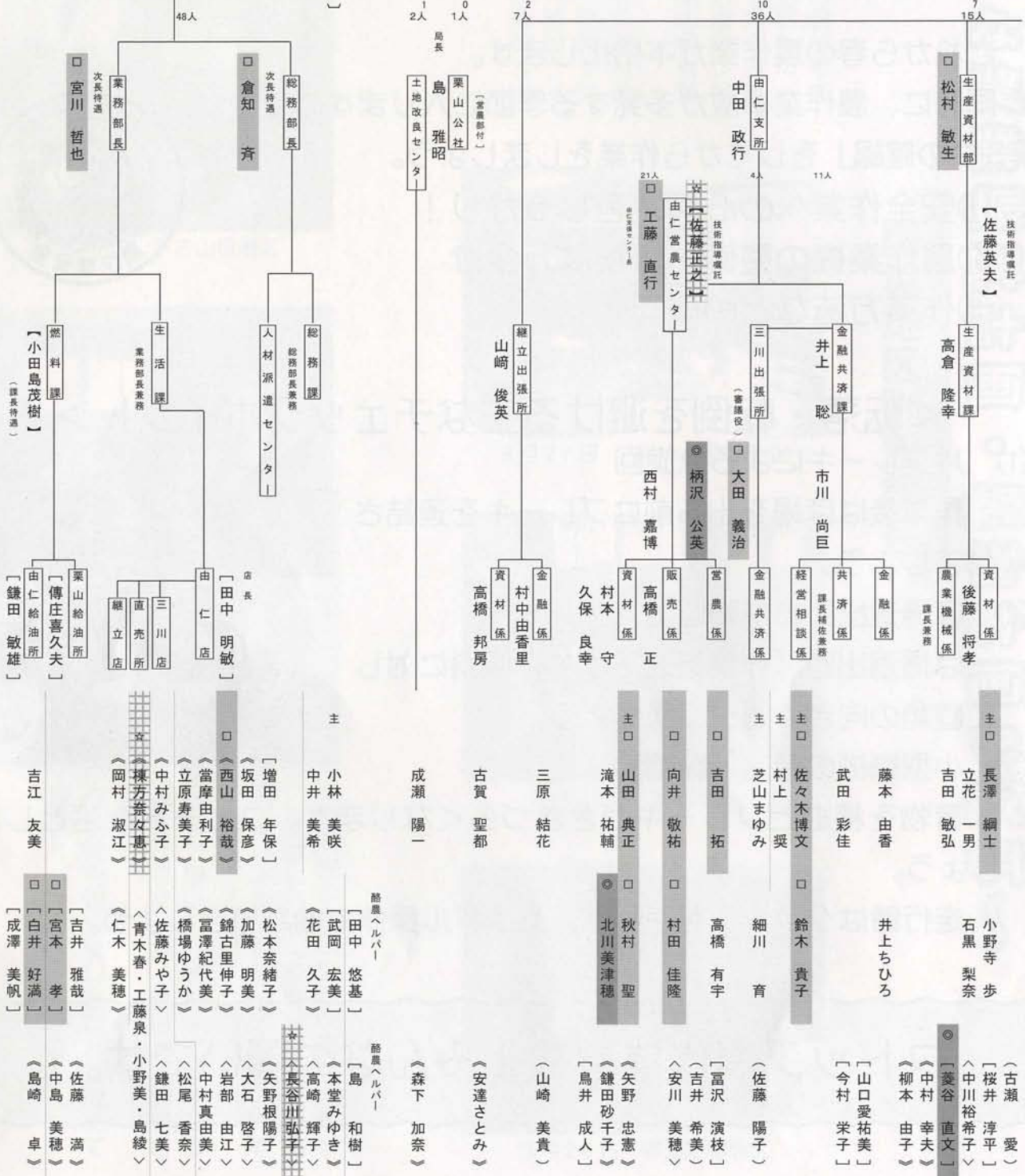
委員会

9名

総務委員会	経済委員会	農家経済対策
委員長 北山 輝男 副委員長 山本 博行 松井 隆典 清水 哲雄	石川 富夫 細山 孝一 国田 俊幸 橋場 一敏 高嶋 雅彦	松井 隆典 国田 俊幸 全理事

取締役社長 大友 伸彦
専務取締役 中島 孝幸
常務取締役 山崎 了次

〔子会社 MW〕



営農技術情報＜農作業事故＞

そらち南農業協同組合
空知農業改良普及センター空知南東部支所

春の農作業安全確認運動実施中です

これから春の農作業が本格化します。

同時に、農作業事故が多発する季節に入りますので、

「3つの確認」をしてから作業をしましょう。

- ①安全作業への心構えをしっかりと！
- ②農作業機の整備・点検は万全か
- ③作業方法などの確認



＜転落・転倒を避ける主なチェックポイント＞

- (1) 片ブレーキによる急旋回

作業後はほ場を出る前にブレーキを連結させましょう。

- (2) ほ場退出時の前輪浮上

ほ場退出時は作業機を下げて、傾斜に対して直角の向きで退出しましょう。

- (3) 小型機械の転落・転倒

荷物を積むとブレーキがききづらくなります。スピードを落としましょう。

走行時はクラッチを使わず、ハンドル操作で曲がりましょう。



ストップ農作業事故！みんなの願いです。

各地区の作業風景



(株)伊東 農場さん (杵臼)
2月27日 水菜選別



重田 憲雄さん (東三川)
3月19日 ビート播種



石田 博之さん (古山)
3月29日 アスター定植

我が家の愛取(アイドル)



りり
璃々ちゃん(女の子)
平成24年1月12日生まれ
東三川
お父さん：小澤 雄大さん
お母さん： 尚子さん

1番可愛く感じるときは？
どんな時も可愛い

どんな子に育って欲しい？
素直で優しく、健康な子に育
って欲しい



はる だ ろう
悠太朗くん(男の子)
平成24年1月18日生まれ
東三川
お父さん：蓑島 修一さん
お母さん： 仁美さん

1番可愛く感じるときは？
笑っている時

どんな子に育って欲しい？
元気で活発な子に育って欲し
い



そう だ
颯太くん(男の子)
平成24年1月27日生まれ
湯地
お父さん：田中 誠司さん
お母さん： 智奈津さん

1番可愛く感じるときは？
笑いながら何か言ってる時

どんな子に育って欲しい？
元気いっぱい、正義感のあ
る子に育ってほしい

家の光



年間購読取り纏めのご案内

「家の光」年間取り纏めの季節がやってきました。

H24年5月から翌年、H25年4月（6月号から～5月号）まで一年分の取り纏めをします。ご本人の家へ直送となりますのでとっても便利です。

是非、購読いただけますようお願い致します。

◇ 年間金額は8、380円となっております。

※H24年5月から翌年、H25年4月（6月号から～5月号）まで一年分（途中で返品もしくは返納出来ません）

◇ 申込締切 平成24年4月16日（月）まで

※お申込みは 営農部 営農指導課まで

TEL 72-1409

FAX 72-7367

岩見沢税務署からのお願い

税務署での税金に関する相談で、関係書類や事実関係など、具体的内容を確認させていただく必要がある「個別相談」については、電話による相談に日時の予約をお願いしています。

なお、資産課税（相続税・贈与税・譲渡所得）に関する「個別相談」については、相談日を設けて事前予約を受け付けておりますので、ご協力をお願いいたします。

平成24年4月から6月の相談日は、次のとおりです。

平成24年4月13日（金） 平成24年4月27日（金）

平成24年5月11日（金） 平成24年5月25日（金）

平成24年6月 8日（金） 平成24年6月22日（金）

また、一般的なご相談は、電話相談センターをご利用ください。

○個別相談の予約 岩見沢税務署 (0126-22-0810 音声案内「2」)

○一般相談 電話相談センター (0126-22-0810 音声案内「1」)

営業時間変更のお知らせ

下記のとおり営業時間が変更となります。宜しくお願い申し上げます。

部署・事業所	期 間	営 業 時 間	
		平 日	土・日・祝祭日
事 務 所 (金融部門を除く)	4月1日～10月末	8:30～17:30	休 日
生 産 資 材 部 由仁営農センター	3月24日～5月末		8:30～17:30
	6月1日～10月末		8:30～12:00
継立出張所資材	3月24日～5月末		8:30～12:00
直 売 所	5月1日～10月末	9:30～18:00	9:30～18:00 (日曜日は定休日)

JAバンクからATM営業時間のお知らせ

平素はJAそらち南をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、ゴールデンウィーク中のATMのお取扱いは下記の通りとなっていますので、お知らせいたします。

4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日
9:00～12:00	休業	休業	9:00～18:00	9:00～18:00	ATM非稼働日			休業

5月3日、4日、5日はセブン銀行はじめ、全ての金融機関においてJAバンクのカード取引ができませんので、あらかじめ現金のお引き出しいただく等の準備をお願い申し上げます。

GW期間中の緊急時連絡先

事故・トラブルの種類	連 絡 先
キャッシュカードの盗難や紛失の際の出金停止	JA北海道信連紛失窓口 ■0120-944-904
ご契約車の事故やトラブルに遭われた際の連絡先	JA共済事故受付センター ■0120-258-931

職員の動き

着任 (4/2付)

佐藤 正之

由仁営農センター 技術指導嘱託



退職 (3/31付)

棚田 和也

営農部営農指導課 課長

橋場 このみ

生産資材部生産資材課 資材係

鈴木 澄雄 (※)

三川出張所 所長

辻本 秋男 (※)

由仁支所金融共済課 経営相談係

中村 勝博

由仁営農センター 技術指導嘱託

※メリーワーク嘱託

